

最近のインフルエンザ発生の動向について

1. 都内のインフルエンザ流行状況

昨年から今年にかけては、散発的にインフルエンザが発生しており、流行開始の目安となる定点当たり1.0人を超える状況が続いている下で増加傾向がみられ、2023年9月21日に、都内のインフルエンザ「流行注意報」の報道発表(※)がなされました。

※都内における流行状況が注意報・警報基準に達した場合には報道発表を行っています。

【注意報基準】

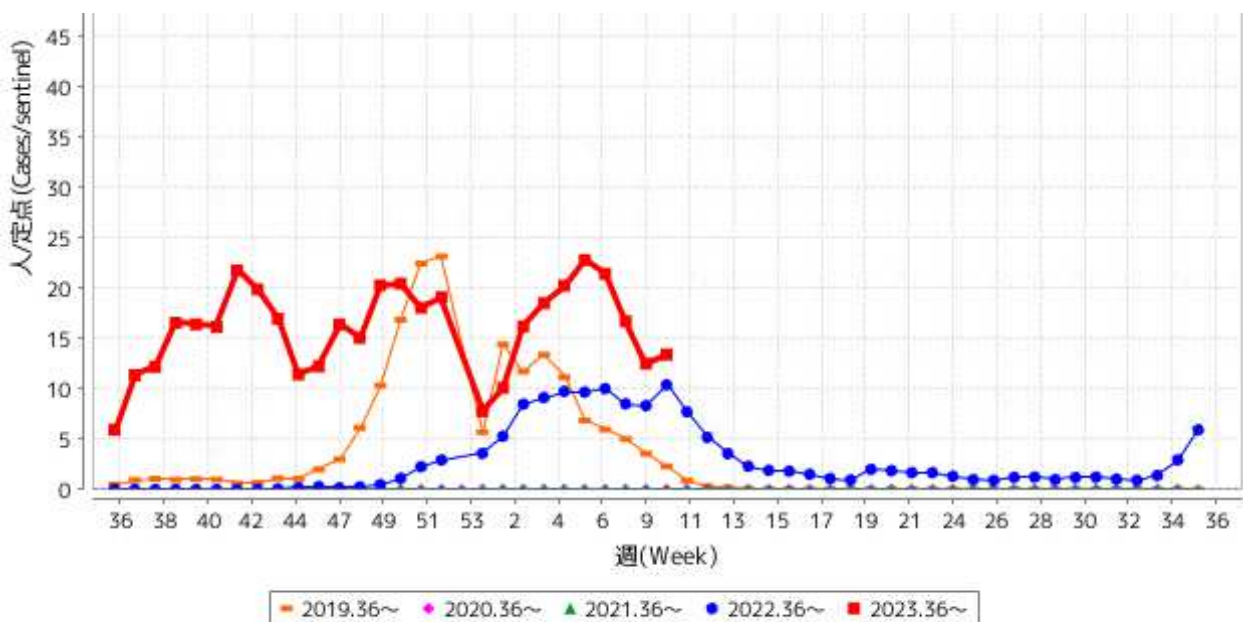
定点医療機関からの報告において、定点当たり患者報告数が10人/週を超えた場合

【警報基準】

定点医療機関からの報告において、定点当たり患者報告数が30人/週を超えた場合

いずれの場合も、保健所の管内人口の合計が、東京都の人口全体の30%を超えた場合には、広域的に流行が発生・継続しているとして警報を発します。

定点医療機関当たり患者報告数 2024年3月10日(第10週)まで



(C)2002-2024 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

【参考】



インフルエンザの流行状況【東京都 2023-2024年シーズン】

(東京都 HP)